

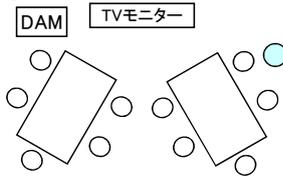
プログラム名 『色を楽しむ リーフプレート』

季節	春	夏	秋	冬	イベント		
対象	一時予防対象者	二次予防対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
人数	10人程度						

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱという自然にあるものの形を使いながら、コラージュ(貼り絵)による色彩の組み合わせを楽しむ。 ・参加者が自ら選択、決定しながら制作をすることで、脳を刺激する。 ・制作後も生活の中で使用したり、プレゼントしたりすることで周囲とのコミュニケーションを楽しむ。
----	--

使用材料	名称	必要数	備考
※教材内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。			

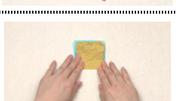
事前準備		<ul style="list-style-type: none"> * タント紙折り紙とトランスパレント用紙は、それぞれ半分の大きさに切っておきます。 * マイタックラベルは、シールが2~3個ずつになるようにシートを切り分けておきます。 <p>※各材料は、指定のものを事前に用意してください。 材料はSUGU・REC(スグレク)カタログで購入できます ⇒http://www.dkcaraoke.co.jp/customers/customers.html</p> <ul style="list-style-type: none"> * 様々な形の葉っぱ(5×2cm程度の大きさと、あまり複雑な形でないもの)を人数より少し多めに準備しておきます。
------	---	---

会場レイアウト	<p>《 配置例 》</p> 	<ul style="list-style-type: none"> * モニターが無理なく見られるようにテーブル、イスを配置。 * モニターが遠すぎると画面が見づらくなるため注意。 * 椅子は、参加者の間に入って声掛けができるよう、適度なゆとりをとって配置する。
---------	--	---

画面表示の見方		<p>このコンテンツには、オートリピート機能が採用されています。 このマークがついているチャプターは、最大120回リピートされますので、参加者の状況に合わせて[DAM]ボタンを押し、次の手順へ進みます。</p>
		<p>画面で制作手順のポイント解説を行います。 できるだけ画面を見てもらえるように声掛けしましょう。</p>

進め方のポイント	<p>何色の紙を使いたいかなど、参加者ご本人に選んでいただく、決めていただけるよう心がけましょう。 葉っぱの形がベースになっていますが、選んだ葉っぱと同じ形に切れていなくても大丈夫です。 急がせることなく、参加者のペースに合わせて、できる範囲から行いましょう。 制作途中にも「いいな」「きれいだな」など感じたことを声掛けしながら進めると、参加者の意欲につながりより効果的です。</p>
----------	---

所要時間	75分	内容	使用材料	画面表示	実施のポイント	声掛け
導入						
	5分	完成作品(例)の紹介 完成作品の使用例紹介		 <p>タイトル 「色を楽しむ リーフプレート」</p>	<p>作品について話しをしながら参加者を席まで誘導しましょう。</p> <p>※リピート 全員が揃ったら[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。</p> <p>※スキップ [DAM]ボタンを押すと、次の手順へスキップします。</p>	<p>「綺麗ですね」 「何でできてるんでしょうね？」 「〇〇さんはどうやって使いたいですか？」</p>

内容		使用材料	画面表示	実施のポイント	声掛け
前編					
①紙の質感を楽しむ					
	3分	気に入った色のタント紙を選びます	・タント紙折り紙 気に入った色紙を選んでみましょう	気に入った色を1枚手にとっていただきます。 ※選べたら残りは片付けておきます。	「好きな色を1枚選んでみましょう」
	5分	紙の質感を楽しみます	・タント紙という紙です 柔らかくします	直接触ってみることで、これから使う素材に興味を持てるよう声をかけましょう。	「どうぞ触ってみてください」 「一緒にもんでみましょう」 「破れても大丈夫ですよ」 「ゆっくりやりましょう」
	3分	薄手の色紙を選びます	・トランスバレント用紙 気に入った色紙を選んでみましょう	気に入った色を1枚手にとっていただきます。 ※選べたら残りは片付けておきます。	「みなさんも気に入った色を1枚選んでみましょう！」
	3分	2枚の色紙を重ねて折ります	・タント折紙 ・トランスバレント用紙 2枚の色紙を重ねて折ります	色紙は大きさが違うため、多少ずれても大丈夫です。	「では一緒に折ってみましょう」
②カタチを作る					
	3分	葉っぱを手にとって観察します 気に入った形の葉っぱを選びます	・葉っぱ こちらをご覧ください 気に入った葉っぱを	直接触ってみることで、これから使う素材に興味を持てるよう声をかけましょう。 ここでは1番気に入った葉っぱを1枚厳選して選んでいただきます。	「どうぞ触ってみてください」 「何の葉っぱかわかりますか？」 「さわ心地はどうですか？」 「みなさんも1枚選んでみましょう！」
	3分	葉っぱを折った色紙の上に置きます	・葉っぱ ・折った色紙 葉っぱの形を写し取ります	選んだ葉っぱを先ほど折った紙の上に載せてみましょう。 載せる場所は中央がおすすです。	「みなさんも紙に葉っぱをのせてみましょう」
	10分	葉っぱの周りを鉛筆でなぞります	・鉛筆 ・折った色紙 こちらをご覧ください みなさんも葉っぱの形を写し取ります	葉っぱを押さえながらゆっくりなぞっていきましょう。 細かい凹凸は気にしなくても構いません。	「まず画面を見てみましょう」 「みなさんも鉛筆でなぞってみましょう！」 「ゆっくりで良いですよ」
	10分	鉛筆の線に合わせて色紙を切っていきます	・はさみ ・折った色紙 こちらをご覧ください みなさんも切り抜いてみましょう	線の通りに切れていなくても大丈夫です。 急がずゆっくりできるように声掛けしましょう。	「まず画面を見てみましょう」 「では貼ってみましょう」 「ゆっくりで良いですよ」
後編					
③カタチを貼る					
	15分	切った色紙を順番に紙皿に貼り付けていきます	・紙皿 ・切った色紙 ・スティックのり こちらをご覧ください みなさんも貼ってみましょう	なかなか場所が決まらない方がいても、急がせず、じっくり考えて場所を決めていただきます。	「まずはやり方を見てみましょう」 「ではみなさんも場所を決めて貼ってみましょう」
			こちらをご覧ください みなさんも貼ってみましょう	※リビート 9割方貼れていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。	「もう一度画面を見てみましょう」 「ではみなさんも貼ってみましょう」
			残りの葉っぱも貼ってみましょう	※リビート 9割方貼れていたら、[DAM]ボタンを押し、次の手順へスキップします。	「残りの葉っぱも貼ってみましょう」
④アクセントを加える					
	5分	アクセントとして丸いシールを貼っていきます	・紙皿 ・丸シール各色 こちらをご覧ください 丸いシールを貼ってみましょう	作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて貼る場所を決めていただきます。 シールは3~5枚がおすすめです。	「まずはやり方を見てみましょう」 「ではみなさんも貼ってみましょう」
	5分	金色のボールペンを使って葉っぱやシールの形を強調していきます	・紙皿 ・金ボールペン こちらをご覧ください 目立たせたい葉っぱやシールの形をなぞってみましょう	作業が進まない方がいても、急がせず、じっくり考えて線を入れる場所を決めていただきます。	「まずはやり方を見てみましょう」 「ではみなさんもなぞってみましょう」 「点線でも良いですよ」
⑤鑑賞してみましょう					
	5分	完成作品を見ながらコミュニケーションを楽しみます		全員で作品を囲みながら話を楽しみましょう。 ※可能な場合には席を立て一箇所に集まるようにすると、会話しやすいでしょう。	使った葉っぱによる雰囲気の違いや、色合いなど、それぞれの作品の良いと感じた部分、何を入れてみたいかなど、話し合ってみましょう。